



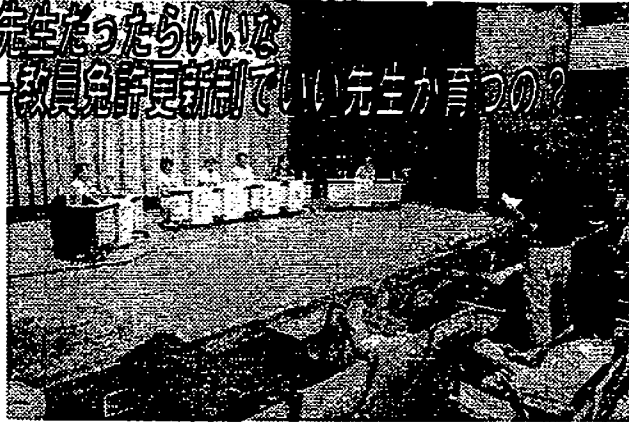
だ い もん じ 大文字

教育のつどい2008速報 No. 17

やっぱり凍結しかない！ 教員免許更新制

シンポジウム「こんな先生だったらいいな —教員免許更新制でいい先生が育つの？」

「教育のつどい2008」の3日
目夜、京都教育文化センターでシ
ンポジウム「こんな先生だったら
いいな—教員免許更新制でいい
先生が育つの？」が開催されました。
シンポジウムには113人が参加
しました。



シンポジウムの冒頭、コーディネーターの山口隆実行委員会事務局長は、「シンポジウムでは教員免許更新制の本質問題とこの制度がどのような問題をもっているのか、あわせて、子どもの願いにこたえる学校づくりにとってどのような教師がもてられているのかという教師像の問題の2点で討論したい」とシンポジウムの目的をしめし、討論にはいりました。

シンポジストの近畿大学・土屋基規さんは、教員免許更新制度が財界の強い圧力のもとで導入されたこととあわせて、「重大な問題を抱えながら実施されようとしており、教員としての専門性の維持・向上という文科省のねらいに照らしても、その効果が得られるか疑問」と指摘しました。そのうえで、いま文科省が来年度から実施しようとしている免許更新研修について、「医師、弁護士などの専門職は終身制なのに、何故教員だけ更新制にするのか」「免許更新制の代替措置として2003年から10年研修を義務付けたのに、免許更新制と重なる」「優秀表彰教員、校長、教頭、主幹教諭、指導主事などは何故、更新しなくていいのか」「だれが免許更新の対象になるのかきちんと知らされるのか」「受講料は3万円程度といわれている」などの問題点を指摘しました。

シンポジストの群馬大学・山崎雄介さんは、群馬大学で講習を実施することになった経緯、および、具体的な実施内容について詳しく報告しました。その中で山崎さんは、「周知期間がほとんどなく、締め切り直前（締切後）に知ったという不満が相当あったこと」「5週間連続の土日（土日のいずれか一方）という設定は、クラブ指導に支障をきたし、受講者から不満が大きかったこと」などを紹介しました。

また主な講義の時間割と修了認定の方法および、受講者の評価、感想（受講終了時のアンケートによる）について触れ、「受講内容についてはプラス評価する意見もある反面、厳しい意見も多い。修了認定方法についても、適切という回答も多い反面、批判的な意見も多い。開催時期、開催方法、その他、受講生の意見要望では、講座の多様化、行政研修との整理統合、大学の通常授業の活用、制度そのものへの批判などがあった」と報告しました。

京教組の東教文部長は「教育活動の困難がひろがるなかで、教育実践をすすめるための中心的な課題は、①楽しく、わかる授業づくり、②教育活動を集団的に進めるための教職員の合意形成にある」と指摘しました。そして「教職員は子どもたちの教育活動を通じてこそ教師としての力を形成でき、しかも教育活動は教職員の共同作業であり、教職員としての集団的な力を形成してこそ学校の教育力を発揮できる。それを子どもたちや教職員から離れた研修を実施し、試験で評価するやり方は教育の条理をふみにじるもの」と批判しました。

新日本婦人の会の伊東さんは、「多忙ななかでがんじがらめにされ、子どもの願いに寄り添うことが難しくなっている。いま学校に持ち込まれている文科省の施策はおとなの論理にもとづくものだ。子どもの願いに立って、あたたかく見守ってほしい。子どもたちのしあわせにつながる教職員、父母がいっしょにすすめる取り組みを考えたい」と発言しました。

京都府職労の元役員・今西静夫さんは、シンポジウムの最後の発言で、今後の課題として、①10年研修制度など現行の研修制度の見直し、②ペーパー・ティチャーにはこの制度はまったく知らされておらず、広く知らせることの重要性、③免許更新制の導入で講師の確保が困難となることへの対策、④受講者の自己負担の軽減など条件の整備、⑤免許更新制の導入でやめたいという教職員が増大することへの対応の必要性をあげました。

シンポジウムでは、多くの参加者から教員免許更新制の問題点や疑問、学校現場での受けとめの紹介の発言があいつぎました。

シンポジウムの閉会に際して、コーディネーターの山口事務局長は、「シンポジウムを通じて教員免許更新制の重大な問題が明らかになった。この制度導入について、『中止も含めて検討せよ』などと注文をつけるなど、マスコミの注目もひろがっている」と指摘し、「教育活動をすすめるうえで最も重要な教育活動上の自主性の保障を一步でも二歩でも前進させるために、共同のとりくみに全力をあげよう」と呼びかけました。

☆ 速報は、このNo.17が最終号です。

☆ 速報用の感想などを寄せいただきありがとうございました。（速報担当一同）